

不祥事根絶に向けた校内研修

校種：小学校

1 研修テーマ

「わいせつ・セクハラの根絶に向けて（ロールプレイ）」

2 研修テーマ設定のねらい

教職員によるわいせつ・セクハラは、児童生徒の心を傷つけるのはもちろんのこと、教育に対する信頼を損なう行為であり、その根絶は極めて重要な課題である。これは、全ての教職員が意識しているべきことであるが、一方で「自分は絶対にありえない」と考えがちな側面もあり、当事者意識が希薄になりやすい傾向もある。また、自身の行為だけでなく、同僚職員の疑わしい行為を目撃した場合に、職員間の関係性や年齢差によっては、指摘しにくいというケースも考えられる。そういった場面で適切な行動がとれるよう、職員間で不祥事に当たる内容やそのときの対応について共通理解を図っておくことは、わいせつ・セクハラだけでなく、体罰・パワハラ等、他の不祥事を根絶するためにも大切なことであろう。

そこで本校では、職員自身にわいせつ・セクハラの意図がなくても、児童生徒から誤解されかねないケースがあることを実感する場面についてロールプレイを行った。疑われる対象となる職員役、児童生徒役だけでなく、その状況を目撃した同僚職員役、その同僚職員が相談可能な職員役も加えることで、当事者意識の高揚、職場全体として目指すべき姿を共有できると考え、本テーマを設定した。

3 研修実施までの流れ（準備）

- ・ 本研修では別添【資料1】のような場面を設定し、ロールプレイを行った。男性職員役、女子児童役、通りかかった同僚職員役は事前に依頼した。
- ・ 演じる職員以外（管理職も含む）も、通りかかった同僚職員から相談を受ける役になる可能性があることは事前に伝えておく。

4 研修当日の流れと時間配分（総時間：約45分）

(1) アイスブレイク（5分）

顔ジャンケンを行い、勝った職員は負けた職員の良いところを褒める。

（グー…目を薄く開く、チョキ…ウインク、パー…目を見開く、3回程度実施）

※マスク着用のため、目元のみで表現できる方法により実施。

(2) 本日の研修についての説明（5分）

(3) ロールプレイ（10分）

演じている職員以外はそれぞれの教員、児童の言動について感じたことや気づいたこと、どう思っていたかなどをメモする。

(4) 振り返り（15分）

演じた職員、参観した職員、それぞれの立場から感想を発表し、意見交換をする。

(5) まとめ（10分）

意見交換を終えての感想を記入し発表する。モラールアップ委員からまとめの話をする。

5 研修で活用した資料（別添資料参照）

- ・ ワークシート（台本）【資料1】
- ・ 本校での実践について【資料2】

6 研修参加者の声

(1) 男性職員役について

- ・ 自分の何気ない行動が、周囲からどのように「見られている。」のかをしっかりと考えなければならない。
- ・ 事前の関係性も重要だろう。事前に、タブレット使用の目的を児童（生徒）に伝えていたら、状況は大きく変わるのではないか。

(2) 女子児童役について

- ・ 「撮られているかも・・・」と意識し始めると、そうとしか思えなくなってくる。
- ・ 児童生徒は他の先生に相談してもよいことなのか迷うかもしれない。学校では相談せずに、家で保護者に伝える可能性もある。
- ・ 職員から説明を受けても、児童生徒は納得するだろうか。誤解を解くためにはタブレットのフォルダを直接見せることが必要かもしれない。

(3) 通りかかった同僚職員役について

- ・ 先輩職員が相手だった場合、事実確認を行うことは難しいかもしれない。
- ・ 他の職員に相談する場合、男性職員の悪い印象を与えてしまう可能性があるため、直接管理職に相談する方が望ましかったか。
- ・ 男性職員本人に伝えるのであれば、別室で対応する方が望ましい。

(4) 相談を受けた同僚職員役について

- ・ 急に相談を受けた場合に、適切な対応をすることは難しいと感じた。管理職に早めに相談をすべきだと感じた。

(5) その他

- ・ 普段から声を掛け合える職場であることが大切である。
- ・ 自分の行動で気になることがあったら教えてほしい。
- ・ 類似のヒヤリハット事案があれば、モラールアップ研修で共有すべきだろう。

7 研修の成果と課題

(1) 成果

- ・ ロールプレイを行うことで、当事者意識を高めることができた。
- ・ 職員の行動について客観的な視点で捉えるよい機会となった。
- ・ 意見交換の中では「自分にも心配な場面があれば、注意してもらいたい。」といった声も複数あった。そういった意見を職員全体で共有できたことで、今後お互いに注意し合うことに対する、抵抗感の軽減につながった。

(2) 課題

- ・ 意見交換を充実させるためには、一定の時間を確保する必要がある。
- ・ 学校規模によっては複数のグループに分かれて実施する方が効果的と思われる。

8 その他

- ・ 研修の様子を紹介した動画（音声付スライドショー7分）あり。